

境川緑地基本計画ワークショップ 第5号 だより

緑地のプランを現地で確認してみよう。

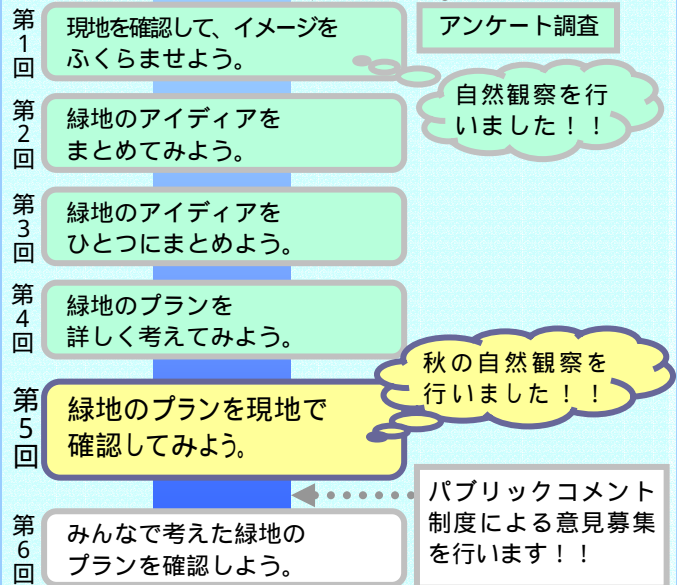
11月11日(金) 午前9時から9名の参加者が集まり、第5回境川緑地基本計画ワークショップを開催しました。

今回は「緑地のプランを現地で確認してみよう。」をテーマに現地確認を行い、これまでのワークショップでまとめられた検討案と現地の状況を比較することで、計画内容の確認を行いました。

また、境川と小石川の合流地点と細田橋付近で水生生物を採取するなど、秋の計画地にはどんな動物・植物が生息しているか自然観察を行いました。

現地確認の終了後、北井山公園に集合し、現地を確認した際に気づいた点、新しいアイデアについての意見交換を行いました。

(ワークショップの全体の流れ)



現地確認



現地確認の様子



現地確認の様子



現地確認の様子



計画地の秋の風景

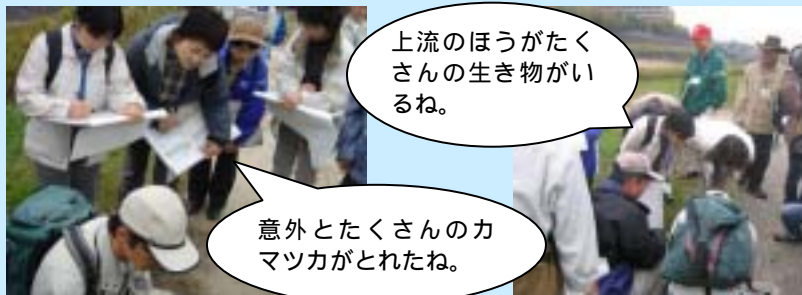
参加者の声

- ・ほこらは残したほうがいいね。
- ・土の道のほうが歩きやすいね。
- ・川の流れが遅いところは水が濺いでいるね。
- ・川に近づくための階段がもう少しあるといいね。

自然観察の結果

参加者の声

- ・夏よりも生き物の種類が少ないかな？
- ・季節はずれのウシガエルの幼生がいたね。大丈夫かな？
- ・オオタカが飛んでいたよ。



上流のほうがたくさんさんの生き物がいるね。

意外とたくさんのカマツカがとれたね。

計画地で広く確認できた生き物
セキレイ、ホオジロ、スズメ、カモ、ハト



自然観察ポイント で確認できた生き物



自然観察ポイント で確認できた生き物



意見交換のまとめ (みんなで話し合いました。)

検討案に対する意見

散策路について

- ・散策路の舗装は土舗装にして、一目で散策路が分かるようにします。
- ・愛宕橋から境川橋間の左岸部は部分的に広い高水敷を遊歩道として活用することや、水辺に近づけるように階段等の設置を検討します。

検討可能な公共用地のプランについて

- ・愛宕橋付近の公共用地にある「ほこら」には、道しるべや交通安全などの謂れがあると思うので、用地内に残します。
- ・三好ヶ丘高架橋付近の公共用地東側は雑木林として、野鳥を呼びため、実のなる木を中心に配植を行います。

その他

- ・散策路や広場に親しみが感じられるように、愛称をつけることを検討します。



意見交換の様子



意見交換の結果

今回の意見交換の内容を反映した計画案に対して、パブリック・コメント制度による意見募集を行います。

詳しくは、広報みよし 12月1日号または三好町役場ホームページをご覧ください。

意見交換で出された、たくさんのアイディアの中から、代表的なものを紹介させていただきました。